


事例1【発達障害の方】

	氏名・年齢	Aさん・20代	利用した期間	3か月
	障害	ASD 自閉症スペクトラム (精神保健福祉手帳 3級)	障害特性	コミュニケーションが苦手 仕事の処理能力が低い
	利用までの経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・大学卒業後、デイサービスで勤務したが、適応障害を発症し、出勤できなくなった。 ・障害者就業・生活支援センターから就労移行支援事業所に相談があり、利用開始した。 ・自分の向き不向きを確認するため様々な作業を行う。 		

「訓練」はどのようなことをしましたか？

事務系の就職を目指していたので、①事務作業（資料作成）、②ライティング作業（クライアントが注文するテーマに添った記事の作成）、③Office 作業（Word、Excel の基礎知識の向上）、④Power Point 作業（プレゼン資料作成）などを行いました。

また、ビジネスマナー講座や SST など、コミュニケーションの取り方なども学びました。少しずつですが、職員さんや利用者さんにも慣れてきました。

今の職場が決まるまでのことを教えてください

障害者就業・生活支援センターやハローワークと相談しながら就職先を探していました。自宅から近い職場を探していたところ、事務系の求人が出ていたため応募しました。

履歴書と職務経歴書、ナビゲーションブックを作成していたので、面接の日時が決まった頃に面接練習を個別でしながら、職員さん同行のもと面接に行き、無事合格が決まりました。

今の状況を教えてください

訓練中に行った事務作業を活かしながら日々の業務に励んでいます。就職して一番困ったことは感情のコントロールでした。ストレスマネジメントで学んだ知識（日記をつけたり、冷静になって物事を考える）を生かしたり、職員さんに電話して相談に乗ってもらったりしていました。

就職後も就労移行の方や障害者就業・生活支援センターの方が様子を見に来ていただけるので助かっています。家庭のことで悩んでいたため、たまにそういった相談もしていました。

これからお仕事をめざす方に一言お願いします

社会に出ることはつらいことかもしれませんが、楽しい時もあります。仕事の責任も伴いますが、やりがいもあります。しんどい時とかつらい時は、事業所さんに電話したり行ったりして相談していました。そこで話を聞いてもらって客観的に見てもらったり、自己分析したりして乗り越えてきました。ぜひ一歩踏み出してください。